

平成 22 年度 決算 に 係 る  
定 期 監 査 調 書

平成 23 年 4 月

農林水産部 水産試験場

〔組織改正に伴い業務を引き継いだ機関  
水産試験場・栽培漁業センター〕

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	2頁
5	役付職員の調べ	3頁
6	主な事業に関する調べ	4頁
7	収入証紙取扱額調べ	9頁
8	収入事務処理状況調べ	9頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	10頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	10頁
11	不納欠損額調べ	10頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	11頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	16頁
14	財産に関する調べ	17頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	22頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	32頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	32頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	34頁
18-2	船舶（公有財産の船舶を含む。）の管理状況	34頁
19	寄附物件の受納状況調べ	34頁
20	備品の処分状況調べ	35頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	35頁
22	事業別予算執行状況調べ	35頁
23	生産物（品）に関する調べ	37頁
24	試験研究調査事業別実施状況調べ	37頁
25	船舶運航調べ	44頁
26	用船の状況調べ	46頁
○	意見、要望等	48頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
水産試験場 （水産試験場沖合 漁業部）	管理担当 （水産試験場総務課）	人事管理、予算・決算事務
	漁場開発室	海洋環境、漁労及び水産資源等についての試験研究及び調査に関すること。
	海洋資源室	〃
	試験船第一鳥取丸	〃
栽培漁業センター （水産試験場沿岸 漁業部）	管理担当 （水産試験場総務課）	人事管理、予算・決算事務
	生産技術室	水産動植物の増殖、養殖及び漁場環境についての試験研究及び調査に関すること。 その他水産技術の普及指導並びに沿岸漁業及び内水面漁業の促進に関すること。
	増殖技術室	〃
	試験船おしどり	〃

（ ）内は平成23年3月31日までの組織状況

## 4 職員の定員、現員調べ

(平成23年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計			備 考
	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	22.4.1現在	
定 員	1	2	17	17	0	1	18	20		
	1	1	9	8	1	1	11	10	H22.12.1 おしどり船長職新設	
現 員	( ) 1	( ) 2	(1) 17	( ) 16	( ) 0	( ) 0	(1) 18	( ) 18	船員2名採用(22.4月、23.4月) 船員1名沿岸部へ転出(22.12月) 船員1名22.3月から休職	
	( ) 1	( ) 1	( ) 9	( ) 8	( ) 1	( ) 1	( ) 11	( ) 10	船員1名沖合部から転入(22.12月)	
過不足(Δ)	0	0	0	Δ1	0	Δ1	0	Δ1		
	0	0	0	0	0	0	0	0		
臨時職員	0	0	1	0	0	0	1	0	船員1名23.2月採用者を更新	
	0	0	0	0	0	0	0	0		
非常勤職員	1	1	6	6	1	0	8	7	(現在の人数内訳) 事務 1名 運転士 1名 技術 6名 (異動の状況) 船員 1名22.12月採用同月退職、 運転士 1名22.4月中途採用	
	1	1	11	12	2	2	14	15	(現在の人数内訳) 事務 1名 警備員 2名 技術 11名 (異動の状況) 研究補助 1名22.4月退職	

上段：水産試験場（旧、水産試験場沖合漁業部）、下段：栽培漁業センター（旧、水産試験場沿岸漁業部）

5 役付職員の調べ  
(水産試験場)

(平成23年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
場長	増田 紳哉	0	0	勤務期間：5年 0月
管理担当主幹	勝部 純基	0	0	勤務期間：4年 0月 出納員
管理担当主幹	森脇 隆志	0	0	勤務期間：3年 0月
漁場開発室長	石原 幸雄	0	0	
海洋資源室長	倉長 亮二	0	0	
船長	森脇 誠	0	0	
機関長	古田 栄	0	0	勤務期間：3年 0月

(栽培漁業センター)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
所長	古田 晋平	0	0	
管理担当主幹	松村 秀雄	0	0	勤務期間：4年 0月 出納員
生産技術室長	福井 利憲	0	0	
増殖技術室長	山田 英明	0	0	勤務期間：4年 0月

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>浮魚資源変動調査</p> <p>決算見込額 12,417千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 183千円</p> <p>一般財源 5,118千円</p> <p>その他 7,116千円</p>	<p><b>浮魚資源変動調査のうちマアジ新規加入量調査について</b></p> <p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要魚種であるマアジについて、生まれて間もない幼魚の発生量を事前に漁獲調査することで資源量を推定し、その後の大きくなったマアジの漁況を予測する手法を開発し、資源保護と漁業経営の安定化に資する。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験操業により漁獲したマアジ幼魚量と地理情報システムを用いた資源量推定のための予測モデルを開発した。</li> </ul> <p><b>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁況予測の精度向上のために沿岸に集中していた調査点を一部沖合に変更した。</li> <li>・研究員のだれもが解析しやすいようにマニュアル冊子を作成した。</li> <li>・高水温などの異常気象により予測した漁況と実際の漁獲量に違いが出る場合があるため、海洋環境に詳しい研究者の協力により予測モデルを修正した。</li> </ul> <p><b>ウ 成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁況予測モデルにより、今後の資源の増減の予測が可能となった。</li> <li>・境港地区において、生産者、卸売業者及び加工業者等を対象に漁況予報を行っており、経営戦略の参考とされている。(過去の発表12回)。</li> <li>・学会・シンポジウム等において成果を発表した。(発表件数 8回)</li> <li>・システムによって推定されたマアジの資源量推定値が水産庁の資源評価に採用された。</li> <li>・本調査結果を参考に生産者が資源管理意欲を高め、資源回復計画により、マアジ幼魚の獲り控えを行うようになった。(休漁回数：平成21年1回、平成22年2回)。</li> <li>・本研究成果が以下の学術雑誌に掲載された 志村 健, 増田紳哉, 氏 良介, 山本 潤, 桜井泰憲 (2010), 1980年代後半以降の日本海南西海域におけるまき網漁業の変遷, 水産海洋研究, 74, (2), 98-104.</li> </ul> <p><b>エ 課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、作成した解析モデル手法のマニュアルに従って、共同調査に参加した機関や当試験場研究員が解析できるように引き継ぐ必要がある。</li> </ul>

事業名	概要	要
<p>燃油高騰対策支援調査</p> <p>決算見込額 46,136千円 (1,276)</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 20,191千円 一般財源 25,945千円 (1,276)</p> <p>※( )内はLED水中集魚灯実用化試験に係る額</p>	<p>燃油高騰対策支援調査のうちLED水中集魚灯実用化試験について</p> <p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小型イカ釣漁船のイカ集魚灯として、従来の電球より非常に省電力なLED水中灯や小型LED船上灯を導入することで、操業中の燃油消費量の削減を図る。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一鳥取丸でスルメイカを対象に、LED水中灯の集魚・漁獲効果を調査するための操業を実施した。(5/12~13)</li> <li>・沿岸いかつり漁船を用船し、白イカを対象に小型LED船上灯を用いて同様の目的での調査を実施した。(10/12、11/4~5)</li> </ul> <p><b>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LED水中灯の効果はスルメイカで確認できなかったため、試験継続を断念し、白イカを対象としたLED船上灯の調査へと切り替えた。</li> </ul> <p><b>ウ 成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スルメイカを対象としたLED水中灯では、集魚・漁獲効果が確認できなかった上、LED水中灯が高価であることから実用化は困難と判断した。</li> <li>・白イカを対象としたLED船上灯調査では、周辺で電球で操業していた他船と遜色ない釣果が得られた。また、試験操業に用船した漁船では燃油消費量が半減した。(1操業約3,500円の節減)</li> </ul> <p><b>エ 課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、白イカを対象としたLED船上灯調査を実施し、実操業ベースでの漁獲及び燃料節減効果を検証するとともに、LED船上灯の耐久性を調査する。</li> </ul>	
<p>種苗放流技術開発試験</p> <p>決算見込額 3,539千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 3,535千円 その他 4千円</p>	<p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キジハタ(第6次鳥取県栽培漁業基本計画の最重要栽培漁業対象魚種)種苗の効率的な放流についての技術を確立し、栽培漁業の実用化を図る。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放流種苗は、放流直後に漁場内に生息する魚類(カサゴやキジハタの成魚)に食害されるので、食害されないように逃避行動を学習させた(馴致)種苗を放流し、その効果を検証した。</li> <li>・放流適地を検討するため、深場(水深25m)及び浅場(水深3m)で放流を実施した。</li> <li>・放流種苗の成長、移動、肥満度等を把握し、漁場内での基礎的な天然生態を明らかにするため、釣獲試験を実施した。</li> </ul>	

事業名	概要	要
(種苗放流技術開発試験の続き)	<p><b>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放流直後に害敵魚に食害されないよう、陸上飼育中にカサゴが危険な魚類であることを学習させた。</li> <li>・追跡調査が可能なように識別可能な標識方法(耳石の染色)を検討した。</li> <li>・漁業者と連絡調整を密にし、協働で試験釣獲を行った。</li> </ul> <p><b>ウ 成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放流初期の生き残りを高めるための馴致放流は、室内実験では有効なことが確かめられた。</li> <li>・1~2才魚(全長20cm)のキジハタは、水深5~30m帯に幅広く分布したが、大型のキジハタ(全長30cm以上)は水深10m以深でないと生息しない生態が解明された。</li> </ul> <p><b>エ 課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・馴致の漁場内での効果を確認するため、放流直後の野外調査が必要である。</li> <li>・手間暇がかかる馴致にかわり放流直後の生き残りを高めるための工夫として保護育成用の魚礁の導入検討も必要と考えられる。</li> <li>・適正な放流箇所は浅場、深場のいずれなのかを、今後の追跡調査で明らかにする必要がある。</li> </ul>	
新魚種種苗生産技術開発試験  決算見込額 3,022千円  (財源内訳) 一般財源 3,016千円 その他 6千円	<p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第6次鳥取県栽培漁業基本計画に沿い、沿岸漁業を振興し栽培漁業を推進するため、漁業者からのニーズが強いキジハタの種苗生産技術の早期確立及び栽培漁業実用化を図る。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キジハタ種苗生産用に改造された26~28tの水槽4面を用いて種苗生産を実施した。</li> <li>・12t水槽2面を用いて親魚の養成を行い、採卵を実施した。</li> </ul> <p><b>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水槽のエアレーション位置の変更と数量を増加させ滑らかな水流ができるようにした。</li> <li>・夜間電照期間を長くし、夜間沈降で斃死する魚を減らす工夫をした。</li> <li>・給餌回数を増やし、餌料プランクトンの栄養強化が落ちないようにした。</li> <li>・VNN(病気)対策として、飼育海水への紫外線の照射量を増やした。</li> <li>・親の餌を生餌からモイストペレットに変更し、ビタミン剤等を添加した。</li> </ul> <p><b>ウ 成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な種苗生産技術を開発できた。                (1tあたりの平均生産尾数が1,700尾を超え、1tあたり1,000尾という目標値(ミッション)を達成できた。)</li> <li>・鳥取県産の親魚からの採卵に成功し、種苗生産に使用することができた。そのため、完全な鳥取県産のキジハタ種苗を作成することが可能となった。</li> </ul>	



事業名	概要
(新魚種種苗生産技術開発試験の続き)	<p><b>エ 課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な種苗生産技術はできたが、短期間の試験であったため、安定したものかどうかの確認が必要である。</li> <li>・ 種苗生産初期の生残率を上げることにより、さらに経済的なものとなる可能性がある。</li> <li>・ 来年度から種苗量産安定化試験を実施し、技術の安定化と量産化について検討する。</li> <li>・ 形態異常の魚がいるが、現在水産総合研究センターにおいて研究されている、形態異常改良技術が応用できるようになった時点で、県での対策を講じる。(現在、外見上形態異常と認められる魚は放流していない。)</li> </ul>
<p>美保湾栽培漁業実用化支援調査</p> <p>決算見込額 5,797千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 5,788千円 その他 9千円</p>	<p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美保湾で来年度から新たに実用化対象種(漁業者が有償で購入し放流する魚種)となるバイと、実用化まであと一步のヒラメについて、美保湾の漁業者と協働しながら、種苗放流、漁場管理及び資源管理を含めた増殖策等を検討する。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>バイ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米子、淀江の2箇所で計1.5万個の標識放流を実施した。</li> <li>・ 上記2箇所で試験操業を行い、標識放流貝の再捕を実施した。</li> <li>・ 産卵期の5～7月に産卵を促進させるための基質を設置する試験を実施した。</li> </ul> <p>ヒラメ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 境港で試験操業を行い、ヒラメの分布とネオヘテロボツリウム症の蔓延実態を調査した。</li> <li>・ ヒラメ人工種苗(6万尾:全長10cm)の試験放流を淀江と境港2箇所で実施した。</li> <li>・ 県境を越える放流魚の移動に対応するための広域連携調査(石川県～山口県)に参加し、日本海西部海域での放流効果を把握するため、ヒラメの県内での漁獲実態を調査した。</li> </ul> <p><b>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁業者と協働するため、試験操業、放流等の時期、場所等の打合せを綿密に行った。</li> </ul> <p><b>ウ 成果</b></p> <p>バイ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放流効果を把握するため実施した試験操業で、2個体ながら平成20年標識放流群が回収され、漁獲サイズである殻高3cm近くまで成長していることが確認された。</li> <li>・ 資源管理の一環として、積極的に増殖させる手法を開発するため、産卵を促進させるための基質の設置試験を実施し、1基質(スレート管)で100万個以上の産卵が確認されるなど、好成果が得られた。</li> </ul> <p>ヒラメ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成19年から21年放流群の平均回収率は8%以上であり、鳥取県で過去最高の回収率5%(平成5年)を上回る状況であった。特に平成19年放流群は回収率が16%もあり、放流事業再開の可能性が出てきた。</li> </ul>

事業名	概要
(美保湾栽培漁業実用化支援調査の続き)	<p><b>エ 課題</b></p> <p>バイ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験操業で平成20年標識放流群が確認されたが、放流効果の検証まではデータが入手できず今後の調査を踏まえて検証する必要がある。</li> <li>・産卵期質設置試験では、基質の材質に更なる検証が必要である。</li> </ul> <p>ヒラメ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回収率の高かった平成19年放流群以外は、回収率が低下していることから、更に調査を継続して、放流効果の検証を行う必要がある。</li> </ul>
<p>湖山池漁場環境回復試験</p> <p>決算見込額 6,344千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 706千円 一般財源 5,632千円 その他 6千円</p>	<p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塩分導入試験（県土整備部が事務局）が魚介類へ与える影響を把握し、湖山池の将来像を検討するための基礎資料とする。また、塩分濃度が高くなったことに伴うシジミ（ヤマトシジミ）の増殖の可能性を検討する。</li> <li>・湖山池の主用漁業種であるシラウオとワカサギの増殖策を検討し、漁業振興を図る。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚類への影響調査として、湖山川水門上下流、湖山池口、池奥に定置網を設置し漁獲物の組成調査を継続して実施した。</li> <li>・週1回、湖内10定点の水質（水温、溶存酸素、塩分）を把握した。</li> <li>・シジミ増殖試験として、平成21年度に産卵させたシジミ稚貝の発生状況を把握した。また、塩分導入によりシジミの産卵を促進した。</li> <li>・シラウオとワカサギの産卵状況と資源量を把握した。</li> </ul> <p><b>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シジミ増殖試験については、稚貝の発生状況を把握するとともに、効率的な産卵誘発法を検討した。</li> <li>・漁業振興策として、シラウオとワカサギの産卵・資源調査を開始した。</li> </ul> <p><b>ウ 成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塩分導入により、魚介類の種類数が微増していることがわかった。</li> <li>・シジミ増殖試験では、塩分導入試験の塩分濃度（最大1,000ppm）でも稚貝が確認され、増殖の可能性が出てきた。</li> </ul> <p><b>エ 課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塩分導入の影響については、調査を継続して魚類相の変化を見極める必要がある。</li> <li>・シジミ増殖試験では、より効果的な資源増殖策を検討するとともに、漁業として成立するか検討する必要がある。</li> </ul>

7 収入証紙取扱額調べ

(平成23年1月31日現在)

収入科目			件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
目	節	細節				
農林水産業手数料	水産業手数料	水産試験場手数料	1	13,700	13,700	コイヘルペスウイルス病検査 1件 証明書 3件
				420	1,260	
計(節)			1		14,960	
目計			1		14,960	
合計			1		14,960	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成23年1月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産 使用料	行政財産 使用料	電柱用地使用料ほか	6	138,245	138,245	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		駐車場使用料(沖合)	316	351,000	351,000	0	0	鳥取県公有財産事務取扱規則	
		駐車場使用料(沿岸)	11	289,000	289,000	0	0	公有財産事務取扱要領	
		冷暖房料	1	29,925	29,925	0	0		
		計(節)			334	808,170	808,170	0	0
目計			334	808,170	808,170	0	0		
合計			334	808,170	808,170	0	0		

(3) 手数料

該当なし

(4) 財産収入

該当なし

## (5) 諸収入

(平成23年1月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
水産総合研究センター受託事業収入	水産総合研究センター受託事業収入		3	19,060,000	19,060,000	0	0		
		計(節)	3	19,060,000	19,060,000	0	0		
目計			3	19,060,000	19,060,000	0	0		
雑入	雑入	広告掲載料	2	24,000	24,000	0	0		
		鳥取県無線漁業協同組合光熱水費	27	403,604	403,604	0	0		
		廃車に伴う自動車重量税還付金	1	2,566	2,566	0	0		
		工事時の電気水道使用料	2	18,625	18,625	0	0		
		軽自動車使用料(上半期分)	1	51,240	51,240	0	0		
		計(節)	33	500,035	500,035	0	0		
目計			33	500,035	500,035	0	0		
合計			36	19,560,035	19,560,035	0	0		

## (6) 現金の取扱状況

該当なし

## 9 収入未済額調べ

該当なし

## 10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

## 11 不納欠損額調べ

該当なし

1.2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ  
 (1) 負担金

(平成23年1月31日現在)

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
水産試験場費	50,000					0		
支出額が10万円未満のもの						40,000		
目計						40,000		
合計						40,000		

(2) 補助金  
 該当なし

(3) 交付金  
 該当なし

## (4) 委託料

(平成23年1月31日現在)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			契約形態					
				(契約年月日) 契約額	契約 期間							
水産試験場費	単県	冷暖房設備保 守点検	三和商事(株)	2,661,750	(21.4.1) 2,362,500	21.4.1 ~24.3.31	21.3.25 (免除)	22.7.22 他	精	22.7.30 他	630,000	21~23の債務 負担
							指	22.7.22 他				
水産試験場費	単県	沖合漁業部庁 舎警備	ALSOK山 陰(株)	239,400	(22.4.1) 123,480	22.4.1 ~23.3.31	22.3.29 (免除)	22.5.7 他	精	22.5.14 他	92,610	
					( )	~	随	22.5.7 他				
水産試験場費	単県	水産海洋情報 処理システム 保守管理	応用技術(株)	714,000	(22.4.1) 714,000	22.4.1 ~23.3.31	22.3.29 (免除)		精			製作者以外 の保守は不可
					( )	~	随					
水産試験場費	単県	人工衛星画像 受信装置保守 管理	日本船用エレ クトロニクス (株)	811,650	(22.4.1) 811,650	22.4.1 ~23.3.31	22.3.24 (免除)		精			製作者以外 の保守は不可
					(22.5.17) 931,650	22.4.1 ~23.3.31	随					
水産試験場費	単県	春イカ漁場探 索調査	鳥取県小型い かつり漁業協 会	1,200,000	(22.4.1) 1,200,000	22.4.5 ~22.5.15	22.3.31 (免除)	22.4.12	精	22.4.23	1,200,000	⑤
					( )	~	随	22.4.12				
水産試験場費	単県	魚類粗脂肪測 定	(財)岡山県 健康づくり財 団	1,260,000	(22.5.19) 1,102,500	22.5.19 ~23.3.31	22.5.18 (免除)		精			⑤
					( )	~	指					
水産試験場費	単県	鳥取大学との 共同研究	国立大学法人 鳥取大学	224,400	(22.6.3) 224,400	22.6.3 ~23.3.18	--- (免除)		概	22.6.18	224,400	
					( )	~	随					

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
				変 更 契 約 ( 最 終 )			履行検査 年 月 日					
					(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間		契約形態				
水産試験場費	単県	LEDいかつり試験操業	鳥取県漁業協同組合境港支所	270,000	(22.10.11) 270,000	22.10.11 ~22.11.30	22.10.8 (免除)	22.11.5	精	22.11.19	270,000	
					( )	~	随	22.11.5				
水産試験場費	単県	秋イカ漁場探索調査	鳥取県小型いかつり漁業協会	1,200,000	(22.11.12) 1,200,000	22.11.13 ~22.12.17	22.11.12 (免除)	22.12.21	精	23.1.4	1,080,000	⑤ 備船する漁船の規模変更による金額減少
					(22.12.17) 1,080,000	22.11.13 ~23.1.14	随	22.12.22				
水産試験場費	単県	「第一鳥取丸」無線機器定期検査	日本無線(株)山陰営業所	693,000	(22.11.26) 693,000	22.11.26 ~23.1.21	22.11.26 (免除)	22.12.17	精	22.12.24	693,000	
					( )	~	随	22.12.17				
水産試験場費	単県	「第一鳥取丸」GMDSS設備検査	和幸(株)	601,650	(22.11.26) 601,650	22.11.26 ~23.1.21	22.11.24 (免除)	22.12.3	精	23.1.28	601,650	
					( )	~	随	22.12.3				
水産試験場費	単県	「第一鳥取丸」機関監視装置保守点検	(株)ジェー・アール・シー・エス	299,250	(23.1.18) 299,250	23.1.18 ~23.3.31	23.1.11 (免除)		精			製作者以外 の保守は不可
					( )	~	随					
水産試験場費	単県	アユ種苗生産業務	(財)鳥取県栽培漁業協会	676,000	(22.4.1) 676,000	22.4.1 ~23.3.31	22.3.26 (免除)		概 他	22.4.23	676,000	
					( )		随					
水産試験場費	単県	海づくり大会用バイ種苗生産業務	(財)鳥取県栽培漁業協会	264,000	(22.4.1) 264,000	22.4.1 ~23.3.31	22.3.26 (免除)		概	22.4.27	264,000	新規
					( )		随					

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年月日	金 額	
				変 更 契 約 ( 最 終 )			契 約 形 態	履 行 検 査 年 月 日				
水産試験場費	単県	湖山池産ワカサギ、シラウオの耳石分析業務	(株)日本エヌ・ユー・エス	1,785,000	(22.6.15) 1,680,000	22.6.15 ~23.3.31	22.6.14 (免除)		精			④
					( )		指					
水産試験場費	単県	湖山池漁場環境回復試験に係る業務	湖山池漁業協同組合	2,589,600	(22.4.1) 2,589,600	22.4.1 ~23.3.31	22.3.25 (免除)		精			③ 湖山池の漁業権所有者は1者のみ
					( )		随					
水産試験場費	単県	沿岸漁業部海水取水管点検清掃業務	(株)東京久栄広島営業所	2,360,000	(22.5.28) 2,152,500	22.5.28 ~22.9.30	22.5.25 (免除)	22.7.21	精	22.7.30	2,152,500	④
					( )		一般	22.7.21				
水産試験場費	単県	水産試験場沿岸漁業部施設維持管理業務	(財)鳥取県栽培漁業協会	6,630,000	(22.4.1) 6,630,000	22.4.1 ~23.3.31	22.3.26 (免除)		概	22.4.23 他	6,630,000	④ 緊密な連絡調整を要するため
					( )		随					
水産試験場費	単県	ヒラメ試験放流用種苗中間育成業務	(財)鳥取県栽培漁業協会	800,000	(22.4.1) 800,000	22.4.1 ~23.3.31	22.3.26 (免除)		概	22.4.27 他	800,000	
					( )		随					
水産試験場費	単県	イワガキ中間育成業務	(財)鳥取県栽培漁業協会	486,000	(22.4.1) 486,000	22.4.1 ~23.3.31	22.3.26 (免除)		概	22.4.27 他	486,000	
					( )		随					
水産試験場費	単県	イワガキ種苗生産業務	(財)鳥取県栽培漁業協会	1,108,000	(22.4.1) 1,108,000	22.4.1 ~23.3.31	22.3.26 (免除)		概	22.4.23 他	1,108,000	④ 本業務を行っているのは当該法人のみ
					( )		随					



予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
				変 更 契 約 ( 最 終 )			契 約 形 態	履 行 検 査 年 月 日				
水産試験場費	単県	キジハタ中間 育成業務	(財)鳥取県 栽培漁業協会	507,000	(22.4.1) 507,000	22.4.1 ~23.3.31	22.3.26 (免除)		概	22.4.27 他	507,000	
					( )		随					
水産試験場費	単県	種苗量産化試 験等業務	(財)鳥取県 栽培漁業協会	361,000	(22.4.1) 361,000	22.4.1 ~23.3.31	22.3.26 (免除)		概	22.4.23	361,000	
					( )		随					
水産試験場費	単県	バイ試験放流 用種苗生産業 務	(財)鳥取県 栽培漁業協会	340,000	(22.4.1) 340,000	22.4.1 ~23.3.31	22.3.26 (免除)		概	22.4.27	340,000	
					( )		随					
水産試験場費	単県	貝毒プランク トン同定業務	(株)東京久 栄広島営業所	292,000	(22.5.10) 288,981	22.5.10 ~22.8.31	22.5.6 (免除)	22.8.9	精	22.8.24	288,981	
					( )		随	22.8.10				
予定価格が20万 円未満のもの											1,081,920	
目 計											19,487,061	
合 計											19,487,061	

1.3 工事請負費調べ

(平成23年1月31日現在)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単県 の別	工 事 名	当 初 契 約			入札等年月日 (契約保証金 納付等年月日)	請 負 人	支 出 状 況			実 地 完 成 年 月 日	変 更 (解 除) の 理 由 ・ 内 容	備 考
			(起工年月日)	(契約年月日)	工 期			支 出 区 分	年 月 日	金 額			
			設計額	契約額		検 査 年 月 日							
			変 更 契 約 (最終)					契 約 形 態					
財産管理費 費(明許)	単県	水産試験場沿岸 漁業部淡水棟工 アコン取替工事	(22.7.12)	(22.7.21)	22.7.21	22.7.16	大和設備 倉吉(株)		完	22.8.13	735,000	22.8.2	
			801,150	735,000	~22.8.10	(免除)		22.8.2					
水産試験場 費	単県	「第一鳥取丸」 定期検査整備工 事	(22.9.7)	(22.10.14)	22.10.14	22.10.8	(有)福 島造船鉄 工所	完				追加工事 の必要が 生じたた め	
			93,779,947	78,750,000	~23.2.4	(免除)							
水産試験場 費	単県	500m/m取水管更 正ピット部配管 塗装補修工事	(22.5.17)	(22.6.7)	22.6.10	22.6.3	(株)東 京久栄広 島営業所	完	22.8.3	483,000	22.7.21		
			549,000	483,000	~22.9.30	(免除)					22.7.21		
目 計										1,218,000			
合 計										1,218,000			

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成23年1月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	沖合漁業部	境港市竹内団地 107	5,025.22	99,499,356	増加	H				H	5,025.22	99,499,356	
					減少	H				H			
	沿岸漁業部	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	25,445.07	42,461,795	増加	H				H	25,445.07	42,461,795	
					減少	H				H			
計			30,470.29	141,961,151						30,470.29	141,961,151		
普通 財産	(該当なし)				増加	H				H			
					減少	H				H			
計			0	0						0	0		
合計			30,470.29	141,961,151						30,470.29	141,961,151		

イ 建 物

(平成23年1月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産 (沖合漁 業部)	庁舎	境港市竹内団地 107	1,395.90	202,152,530	増加	H				H	1,395.90	202,152,530	
					減少	H				H			
	漁具倉庫	境港市竹内団地 107	340.00	19,597,250	増加	H				H	340.00	19,597,250	
					減少	H				H			
	車庫	境港市竹内団地 107	42.00	3,681,288	増加	H				H	42.00	3,681,288	
					減少	H				H			
行政 財産 (沿岸漁 業部)	ワムシ飼育培養棟	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	417.60	28,580,819	増加	H				H	417.60	28,580,819	
					減少	H				H			
	アワビ棟	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	1,990.17	140,289,909	増加	H				H	1,990.17	140,289,909	
					減少	H				H			
	管理棟	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	691.92	76,063,378	増加	H				H	691.92	76,063,378	
					減少	H				H			
	機械棟	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	386.70	39,796,653	増加	H				H	386.70	39,796,653	
					減少	H				H			
	車庫	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	25.00	1,623,511	増加	H				H	25.00	1,623,511	
					減少	H				H			
	ポンプ棟	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	8.75	831,957	増加	H				H	8.75	831,957	
					減少	H				H			
	ヒラメ棟	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	1,382.87	134,170,880	増加	H				H	1,382.87	134,170,880	
					減少	H				H			
	クルマエビ飼育棟	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	360.40	24,779,724	増加	H				H	360.40	24,779,724	
					減少	H				H			
	アワビ棟調温施設	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	7.93	747,295	増加	H				H	7.93	747,295	
					減少	H				H			
	濾過棟	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	97.90	7,925,584	増加	H				H	97.90	7,925,584	
					減少	H				H			
淡水飼育試験棟	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	135.00	17,033,390	増加	H				H	135.00	17,033,390		
				減少	H				H				

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					差引		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)		価額 (円)
行政 財産 (沿岸漁 業部) 続き	漁具倉庫	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	99.89	7,577,099	増加	H				H	99.89	7,577,099	
					減少	H				H			
	サザエ棟	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	695.50	178,346,560	増加	H				H	695.50	178,346,560	
					減少	H				H			
	作業室	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	30.00	4,223,000	増加	H				H	30.00	4,223,000	
					減少	H				H			
	沈砂棟	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	18.56	35,515,430	増加	H				H	18.56	35,515,430	
					減少	H				H			
	ポンプ室	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	28.59		増加	H				H	28.59		
					減少	H				H			
	水管更正ピット	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	7.76		増加	H				H	7.76		
					減少	H				H			
	ヒラメ、クルマエ ビ加温施設機械棟	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	125.00	22,557,000	増加	H				H	125.00	22,557,000	
					減少	H				H			
	防疫検査施設	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	91.00	20,171,550	増加	H				H	91.00	20,171,550	
					減少	H				H			
井戸取水ポンプ室 1	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	7.78	15,400,785	増加	H				H	7.78	15,400,785		
				減少	H				H				
井戸取水ポンプ室 2	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	7.78		増加	H				H	7.78			
				減少	H				H				
井戸取水ポンプ室 3	東伯郡湯梨浜町 石脇1166	7.78		増加	H				H	7.78			
				減少	H				H				
計			8,401.78	981,065,592						8,401.78	981,065,592		
普通 財産	(該当なし)		0	0	増加	H				H			
					減少	H				H			
計										0	0		
合計			8,401.78	981,065,592						8,401.78	981,065,592		

ウ 山林

該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

（平成23年1月31日現在）

区 分	前年度末		本年度中の増減（△）			差 引	備 考
	取得年月日	数 量	年月日	数 量	取得又は処分価格		
船 舶	H9. 2. 27	(t) 199.00			円	(t) 199.00	沖合漁業部 第一鳥取丸
合 計		199.00				199.00	

オ 物 権

該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

（ア） 異動状況

（平成23年1月31日現在）

区 分	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		増	減		
特許権	件	件	件	件	
沖合漁業部	1	0	0	1	
沿岸漁業部	0	0	0	0	
合 計	1	0	0	1	

（イ） 出願及び登録の状況

区 分	名 称	出願日	登録日	活用の有無
特許権 沖合漁業部	選別機能付き曳き網	H15. 3. 31	H19. 3. 9	無
出願中	0件 登 録	1件		

（ウ） 活用の状況

該当なし

キ 有価証券

該当なし

## (2) 金券類の受払状況

## ア 金券の受払状況

(平成23年1月31日現在)

種 別		前年度末	本年度中		差 引	備考
			購 入 額	使 用 額		
		円	円	円	円	
郵便切手及び 郵便はがき	沖合漁業部	45,340	51,000	55,260	41,080	
	沿岸漁業部	31,560	17,000	22,090	26,470	
収入印紙	沖合漁業部	0	25,300	25,300	0	
	沿岸漁業部	0	0	0	0	
部ごとの 合 計	沖合漁業部	45,340	76,300	80,560	41,080	
	沿岸漁業部	31,560	17,000	22,090	26,470	
合 計		76,900	93,300	102,650	67,550	

## イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

## (3) 債 権

※沿岸漁業部は該当なし

(平成23年1月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				差 引		備 考
			増		減				
	金 額	件 数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	
	円		円		円		円		
(行政財産使用料)	529,032	4	0	0	137,373	1	391,659	3	
鉄塔用地使用料	461,652	1	0	0	115,413	0	346,239	1	
電柱用地使用料	1,500	1	0	0	1,500	1	0	0	
〃	18,000	1	0	0	4,500	0	13,500	1	
庁舎屋上使用料	47,880	1	0	0	15,960	0	31,920	1	
(財産貸付収入)	828,180	1	0	0	0	0	828,180	1	
局舎用地貸付料	828,180	1	0	0	0	0	828,180	1	年度末予定残 高 736,160円
合 計	1,357,212	5	0	0	137,373	1	1,219,839	4	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成23年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	事務所用地	境港市竹内団地107	107.00 m <sup>2</sup>	H21.4.1	H元.9.11	H21.4.1 ~ H31.3.31	月額・年額 92,020	92,020	境港市竹内団地107 鳥取県無線漁業協同組合	
	鉄塔用地	〃	93.00 m <sup>2</sup>	H21.4.1	H6.4.1	H21.4.1 ~ H26.3.31	月額・年額 115,413	115,413	〃	
	電柱設置用地	〃	本柱1本 支線2条	H21.4.1	H6.4.1	H21.4.1 ~ H26.3.31	月額・年額 4,500	4,500	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店	
	〃	〃	本柱1本	H18.4.1	H8.1.24	H18.4.1 ~ H23.3.31	月額・年額 1,500	1,500	米子市加茂町2丁目51 中国電力(株)米子営業所	
	監視カメラ電源用地	〃	1.058 m <sup>2</sup>	H22.4.1	H16.11.1	H22.4.1 ~ H23.3.31	月額・年額 872	872	神戸市中央区新港町12-1 神戸税関	
計							214,305			
普通財産	(該当なし)						月額・年額	0		
計								0		
合計								214,305		



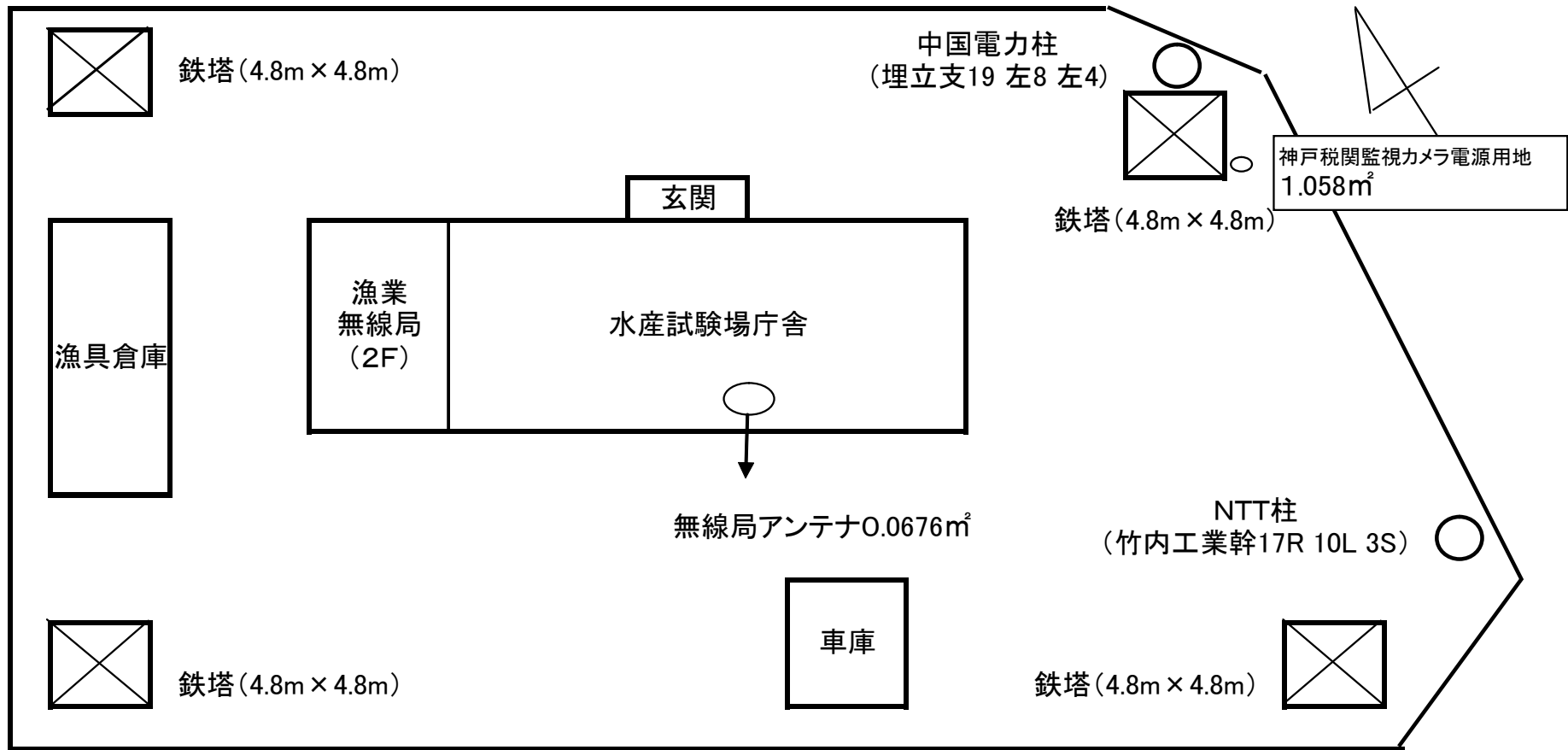
イ 建 物

(平成23年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	アンテナ設置	境港市竹内団地107	0.0676 m <sup>2</sup>	H20.3.31	H20.2.12	H20.4.1 ~ H25.3.31	丹榊・年額 15,960	15,960	境港市竹内団地107 鳥取県無線漁業協同組合	
	種苗生産業務	東伯郡湯梨浜町石脇1166	5,565.60 m <sup>2</sup>	H21.3.31	H6.4.1	H22.4.1 ~ H23.3.31	丹榊・年額	無償	東伯郡湯梨浜町石脇1166 (財)鳥取県栽培漁業協会	
	〃	〃	2,896.90 m <sup>2</sup>	H21.3.31	H6.4.1	H22.4.1 ~ H23.3.31	丹榊・年額	無償	東伯郡湯梨浜町石脇1166 (財)鳥取県栽培漁業協会	工作物
計								15,960		
普通財産	(該当なし)						月額・年額	0		
計								0		
合計								15,960		

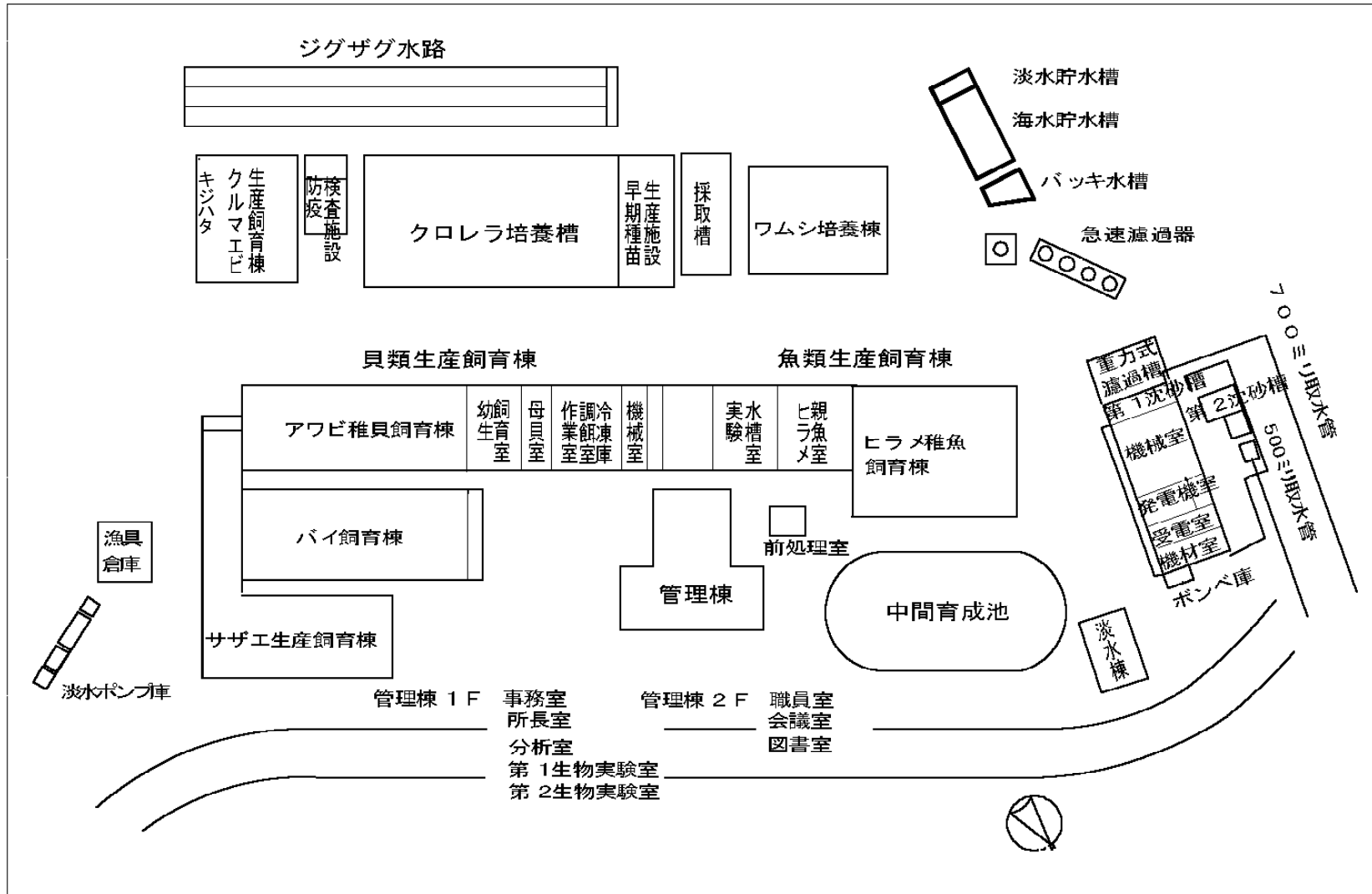
水産試験場沖合漁業部周辺図

(臨港道路)竹内埠頭背後線



(市道)竹内団地8号線

# 水産試験場沿岸漁業部 施設配置図



## (2) 物 品

(平成23年1月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料 (円)		貸付先 住 所 氏 名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
移動ラック	2	三英MF	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 (財)鳥取県栽培漁業協会	水産試験場 沿岸漁業部	種苗生産業務	
冷蔵庫	1	三菱150L	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
海水冷却器	1	レイシーRX-600 H-Y	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
海水冷却器	2	レイシーRX-150 H-Y	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
レイシーメタルハラ イドランプ	2	LUC-150	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
ドラフトチャンパー	1	三英PW式DWA-1 200	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
中央実験台	4	三英DW式	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
壁側実験台	6	三英DW式	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
無菌実験台	1	三英DW式	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
ユニット実験台	1	三英DW式	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
作業台	4	三英DW式	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
測定台	1	2400×750×7 50	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
薬用冷蔵ショーケー ス	1	MPR512R	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
電子式防湿ケース	1	ドライキャビHD-1 10	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所 氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
ユニット流し台	10	三英DW式	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 (財)鳥取県栽培漁業協会	水産試験場 沿岸漁業部	種苗生産業務	
凍結マイクロトーム	1	大和光機MA-101	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
遠心分離器	1	日立工機O5P-21P	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
軟X線撮影装置	1	ソフテックスCMB-2	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
高圧蒸気滅菌器	1	MC-30LW	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
冷却遠心器	1	久保田MODEL1920	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
システム顕微鏡	1	オリンパスBX50-34-VPT-1	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
電気泳動装置	1	サブマリン型AE6124型	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
乾燥器	1	MOV-112F	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
電気泳動装置	1	AE8750型	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
振とう器	1	アト-AE3605型	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
オートクレイブ	1	HA-300MII	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
ポラロイドカメラゲル撮影セット	1	FN-0300-00-20	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
紫外線遮断マスク	1	フナコシFP-800	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所 氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
PCRチューブ用卓上遠心機	1	「プチはち」MODEL2816	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 (財)鳥取県栽培漁業協会	水産試験場 沿岸漁業部	種苗生産業務	
分光光度計	1	アマシャムファルマシアバイオテク	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
冷却遠心機	1	日立工機CF15R	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
PCRサーマルサイクラー	1	宝酒造TP3000	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
ELISA機器	1	5501575	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
高圧蒸気滅菌器	1	オートクレーブMLS-3020	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
超純水製造装置	1		H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
高温恒温器	1	MOV-112P	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
電気泳動装置	1	AE-6133	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
分注器	1	0.5~10ul 他	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
恒温水槽	1	BF-500試験槽BZ100	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
アスピレーター	1	WJ-15	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
測定台	4	三英DW式	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
マルチ水質測定器	1	モデル85	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所 氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
電子天秤	1	メトラーPC180	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 (財)鳥取県栽培漁業協会	水産試験場 沿岸漁業部	種苗生産業務	
上皿電子天秤	1	メトラーPC-180 NO.785793	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
上皿天秤	1	メトラーSB8001 AB54	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
循環恒温装置	1	ヤマト科学CTE-2 20	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
パラフィン伸展器	1	木屋3550	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
電気炉(マッフル炉)	1	平沢EHA-15	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
チョッパー	1	エムラES-2	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
ミートチョッパー	1	#42電動式SR-5	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
スライスカッター	1	KTD-3型	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
水中ポンプ	2	エバラEA2型	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
ベルトグラインダー	1	日立工機BGM-50	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
自動波板洗浄機	1	クボタ工業NK-50 O型	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
波板洗浄機	1	クボタ工業NK-50 OS型	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
空気脱水殺菌装置	1	サニトロンSS-10 G	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所 氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
アイスクラッシャー	1		H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 (財)鳥取県栽培漁業協会	水産試験場 沿岸漁業部	種苗生産業務	
試験管ミキサー	1		H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
マグネットポンプ	4	レイシーRMD-700	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
システム実体顕微鏡	1	ニコンSMZ-10A-6	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
水中ビデオ撮影装置	1	DJ-100	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
蛍光顕微鏡	1	NikonE600 B・Gセット	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
水中写真撮影装置	1	シーアンドシーCX-600	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
DNA検出・撮影装置	1	AE-6915型	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
デジタルビデオデッキ	1	ソニーWV-D10000	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
和船(ボート)	1	和船ヤマハW-23S	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
船外機	1	50HWHTOL	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
クリーンベンチ	1	PAU-1300AG	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
超定温フリーザー	1	MDF-192-AT	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
薬用冷蔵ショーケース	1	MPR-1610	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	



品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所 氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
FRP水槽	4		H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 (財)鳥取県栽培漁業協会	水産試験場 沿岸漁業部	種苗生産業務	
アルミテアふ化槽	2	FRP500	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
サンゴ飼育水槽	1	レイシーメタルハライドLUC-150	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
軽四輪貨物自動車	1	ダイハツ 鳥取41い360	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
軽四輪貨物自動車	1	スバル 鳥取480え6566	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
軽四輪貨物自動車	1	三菱 鳥取40る7584	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
フォークリフト	1	TCM-FHGE15T4	H21.4.1 ~H24.3.31	<del>月額一年額</del>	免除	〃	〃	〃	
合計					0				

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (m <sup>2</sup> )	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	境港市竹内団地107	12.50	1,000
	東伯郡湯梨浜町石脇1166	12.50	1,000
普通財産	(該当なし)		

イ 異動状況

(行政財産) 沖合漁業部

月別	月初日	減		増		月末日		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免		うち減免		うち減免				
4月	37人	0人	0人	1人	0人	38人	0人	34,000円	/	/
5月	38	0	0	0	0	38	0	34,000		
6月	38	0	0	1	0	39	0	35,000		
7月	39	0	0	0	0	39	0	35,000		
8月	39	0	0	0	0	39	0	35,000		
9月	39	0	0	0	0	39	0	35,000		
10月	39	0	0	0	0	39	0	35,000		
11月	39	1	0	1	0	39	0	35,000		
12月	39	1	0	0	0	38	0	34,000		
1月	38	1	0	0	0	37	0	33,000		
2月	37							3,000		
3月	37							3,000		
合計								351,000	351,000円	0円

※鳥取県無線漁業協同組合の職員使用分(使用者7名、使用区画数3区画)については、4月に12ヶ月分を一括調定しており、全額が収納済。

(行政財産) 沿岸漁業部

月別	月初日	減		増		月末日		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免		うち減免		うち減免				
4月	28人	0人	0人	0人	0人	28人	0人	28,000 円	/	/
5月	28	0	0	0	0	28	0	28,000		
6月	28	0	0	0	0	28	0	28,000		
7月	28	0	0	1	0	29	0	29,000		
8月	29	0	0	0	0	29	0	29,000		
9月	29	0	0	0	0	29	0	29,000		
10月	29	0	0	0	0	29	0	29,000		
11月	29	0	0	0	0	29	0	29,000		
12月	29	0	0	1	0	30	0	30,000		
1月	30	0	0	0	0	30	0	30,000		
2月	30									
3月	30									
合計								289,000		

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

※沖合漁業部はリース車両のため該当なし

(平成23年1月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行キロ数	本年度			備考
					稼働日数	(1ヶ月平均)走行キロ数	修理費等	
軽四輪貨物自動車	22	鳥取480え 65-66	H22. 2. 3	km 10,088	日 157	(877) km 8,770	円 22,487	沿岸漁業部
軽四輪貨物自動車	12	鳥取40る 75-84	H12. 2. 23	144,884	168	(1,266) km 12,660	28,466	〃
軽四輪貨物自動車	13	鳥取41い 360	H15. 6. 24	152,631	142	(1,081) km 10,809	14,953	〃
合計		台 3					65,906	

18-2 船舶（公有財産の船舶を含む。）の管理状況

(平成23年1月31日現在)

船名	トン数	取得年月日	稼働日数	燃料		修繕費等	左の主な内容	定係港又は船籍港	占用料
				消費量	金額				
				ℓ	円	円	円	円	
第一鳥取丸	199.00	H9. 2. 27	87	150,000	9,992,325	555,975	油圧クレーン修理 189,000円	境港	免除
おしどり	6.10	H22. 9. 1	23	1,300	117,359	0		泊漁港	〃
第二おしどり	1.77	S55. 3. 29	34	604	82,602	9,681	プラグ点検 9,681円	長和瀬漁港	〃
計				151,904	10,192,286	565,656			

※第一鳥取丸の燃料のうち、1月分20,000ℓの1,415,400円は2月支払。

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成23年1月31日現在)

※沿岸漁業部分について、不用決定年月日は21年度であるが、22年度に処分したため記載。

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格 円	不用決定年月日	不用とする理由	処 分				備考
							売却 棄却 の別	売却方 法・ 棄却理由	処分 年月日	売却額・ 処分費用	
上皿電子天秤	1	H元. 3. 17	15	97,000	H22. 12. 27	修理不可能であり使用不能	棄却	売却不能	H22. 12. 27	円 0	沖合
プリンター	1	H5. 11. 10	5	185,400	H21. 11. 18	〃	〃	〃	H22. 5. 27		沿岸
光ファイバー照明装置	1	H4. 8. 18	5	120,000	H21. 11. 18	〃	〃	〃	H22. 5. 27		沿岸
パラフィン伸展器	1	S56. 4. 1	5	96,000	H21. 11. 18	〃	〃	〃	H22. 5. 27		沿岸
直示分析天秤	1	S56. 3. 25	15	810,000	H21. 11. 18	〃	〃	〃	H22. 5. 27		沿岸
小型回転マイクローム	1	S56. 3. 31	5	212,000	H21. 11. 18	〃	〃	〃	H22. 5. 27		沿岸
自動温度測定器	1	H6. 8. 25	5	339,900	H21. 11. 18	〃	〃	〃	H22. 5. 27		沿岸
合 計				1,860,300						(沿岸部) 60,900	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成23年1月31日現在)

現金、有価証券又は物品名	数量	金額	出納員又は使用者職氏名	亡失、損傷年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
多項目水質計	1	円 1,795,500 (225,085)	増殖技術室長 山田英明	損傷 H22. 7. 15 15時00分頃	水産試験場沿岸漁業部研究員室	電池交換の際にケースカバーが破損	H22. 7. 23	—
合 計	1	1,795,500						

22 事業別予算執行状況調べ

一般会計：現年

目 名	環境保全費	(平成23年1月31日現在)	
事業名	事業の概要(目的、実績等)		
東郷池覆砂効果検証調査事業	東郷池における覆砂施工前後の底質調査を行い、覆砂による環境改善効果を検証する。		

目 名	水産試験場費
事業名	事業の概要（目的、実績等）
燃油高騰対策支援調査	6 主な事業に関する調べ に記載 24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
海洋環境変動調査	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
浮魚資源変動調査	6 主な事業に関する調べ に記載 24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
底魚資源変動調査	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
海の美味しさ発見調査事業	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
水産情報発信事業	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
中海漁場環境調査	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
ナマコ増殖試験	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
放流魚種飼育試験（全国豊かな海づくり大会用）	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
新魚種育苗生産技術開発試験	6 主な事業に関する調べ に記載 24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
種苗放流技術開発試験	6 主な事業に関する調べ に記載 24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
美保湾栽培漁業実用化支援調査	6 主な事業に関する調べ に記載 24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
魚病対策事業	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
イワガキ資源回復技術開発試験	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
地域養殖特産種創出試験	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
沿岸漁業重要資源調査事業	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
豊かで安心な魚を育む漁場環境監視事業	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
藻場回復基礎調査	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
内水面資源生態調査	24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
湖山地漁場環境回復試験	6 主な事業に関する調べ に記載 24 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載

2.3 生産物（品）に関する調べ

(平成23年1月31日現在)

生産 部門	品名 種類	生産 計画 数量	生産数量			場内 使用	処分数量						分 類 換	差 引 残	備考	
			前年 からの 繰越	生産 購入	計		売却		目的外使用		廃 棄	計				
							数量	金額	数量	金額		数量				金額
水産試 験場	アカガレイ	0	0	104.6	104.6	104.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ソウハチ	0	0	28.1	28.1	28.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヒレグロ	0	0	205.0	205.0	205.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハタハタ	0	0	208.1	208.1	208.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	エビ類	0	0	96.6	96.6	96.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スルメイカ	0	0	66.9	66.9	66.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貝類	0	0	12.5	12.5	12.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ドギ	0	0	18.0	18.0	18.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニシン	0	0	21.0	21.0	21.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ズワイガニ	0	0	54.5	54.5	54.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マダラ	0	0	13.2	13.2	13.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニギス	0	0	10.5	10.5	10.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	839.0	839.0	839.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2.4 試験研究調査事業別実施状況調べ

(平成23年1月31日現在)

事業名	実施計画 期間 (予算額) 支出済額	担当室	試験研究 調査の目的	試験研究調査の 成果・課題
燃油高騰 対策支援 調査	20～22年度 円 (46,136,000) 3,938,990	漁場開発室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(単)スルメイカの魚群探索によ って燃油使用量の削減を図る。</li> <li>・(単)LED水中灯、LED船上 灯を利用したイカ釣技術の開発。</li> <li>・(補助)潮流観測ブイ、潮流情報 提供システムの整備 (H23年度へ の繰越承認済)。</li> </ul>	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。  (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。
海洋環境 変動調査	18年度～ 円 (10,601,000) 4,568,864	漁場開発室	(補助、単) ・海洋環境の動向をを把握し、漁業 者へ迅速な情報提供を行う。	(成果) 毎月、海洋観測を実施し、海況情報の 提供及び予測を行った。  (課題) 観測データの多彩な解析による情報発 信や有効活用。
浮魚資源 変動調査	20年度～ 円 (12,417,000) 6,138,919	漁場開発室	(委、単) 「6 主な事業に関する調べ」に	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。  (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。
底魚資源 変動調査	20年度～ 円 (17,192,000) 8,209,352	海洋資源室	(委、単) ・底魚 (ハタハタ、カレイ類、ズワ イガニ、ベニズワイガニ) 資源の 状況・動向を把握することで資源 管理の推進を図るための資料とす る。	(成果) 沖合底びき網漁業者の資源管理の意識 が高まり、ズワイガニの資源管理が進 んでいる。  (課題) 漁獲量規制だけでなく、小型カレイ類 を逃がす改良漁具の使用等により不 合理漁獲 (漁獲対象以外の小型魚を漁獲 し投棄) を減らすことが必要。

事業名	実施計画 期 間 (予算額) 支出済額	担 当 室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試験研究調査の 成果・課題
海の美味 しさ発見 調査事業	20～23年度 円 (2,291,000) 374,332	漁場開発室	(単) ・旬の特定(脂ののりの季節変化)、 ブランド化のための優位性調査、 ハンディタイプ脂質測定器のソフト 開発。 ・沖合底びき網の未利用資源の機能 性成分分析。	(成果) 調査結果より脂ののりに自信のもてる 鳥取県産大型ハタハタを「とろはた」 としてH22年10月にブランド化した。 (課題) 他部局、業界との連携により県産魚の PR、ブランド化推進をどのように図 るか。
水産情報 発信事業	13年度～ 円 (2,760,000) 930,357	漁場開発室	(単) ・漁海況(水温、潮流)情報及び試 験研究・調査成果をわかりやすく 紹介する。	(成果) 大型ポスター(月1回)・海洋環境水 産資源レポートの発行、漁海況予報会 議等の開催、イカ釣り情報の電話応答 案内。 (課題) 迅速な情報の提供、印刷コストの縮減。
中海漁場 環境調査	21～23年度 円 (3,254,000) 2,028,254	増殖技術室	(調査対象)ハゼ類、サルボウ、ア サリ、アマモ他 (目的)(単) ・中海における魚類および底生生物 の生息環境及び生息実態を把握す る。また、本庄工区開削による稚 魚の発生動向等の、推移を把握す る。	(成果) 中海における生物生息環境及び稚魚出 現動向等を把握し、境水道と江島大橋 より湾奥で大きな差異があることを確 認した。本庄工区開削による流れの変 化で、江島大橋より湾奥において夏場 の貧酸素化が進む傾向にあることを確 認。 (課題) 単年だけでなく引き続き調査を行い、 本庄工区開削の影響を把握し、調査結 果をもとに中海の水産振興策の提言を 行う必要がある。
ナマコ増 殖試験	21～23年度 円 (956,000) 388,010	増殖技術室	(調査対象)マナマコ (目的)(単) ・ナマコの天然稚仔を効率的に採集 する技術を開発し、ナマコの安定 増産を目指す。	(成果) 波浪等により採苗器が破損するため、 貝殻を基質とする採苗器を設置し調査 中。 (課題) 岩礁域へ設置したが、波浪等の影響に ついて更に吟味する必要がある。
放流魚飼 育試験 (全国豊 かな海づ くり大会 用)	22～23年度 円 (3,359,000) 3,239,385	生産技術室	(調査対象)バイ (目的)(単) ・全国豊かな海づくり大会用放流魚 種に想定されるバイについて、確 実に確保されるよう飼育試験を行 う。	(成果) H21年生産分はH22年4月に1,0 00個で飼育試験を開始し、10月に 450個を取上した。H22年生産分 は10月に1,000個で飼育試験を 開始し、現在飼育中。 (課題) 循環飼育方法のため、殻の色が薄い傾 向にある。生残率の向上が必要である。



事業名	実施計画 期 間 (予算額) 支出済額	担 当 室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試験研究調査の 成 果 ・ 課 題
新魚種種 苗生産技 術開発試	20～24年度 円 (3,022,000) 2,566,589	生産技術室	(調査対象) 「6 主な事業に関する調べ」に 記載。	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。
				(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。
種苗放流 技術開発 試験	15～22年度 円 (3,539,000) 2,700,231	増殖技術室	(調査対象) 「6 主な事業に関する調べ」に 記載。	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。
				(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。
美保湾栽 培漁業実 用化支援 調査	22～23年度 円 (5,797,000) 3,702,912	増殖技術室	(調査対象) 「6 主な事業に関する調べ」に 記載。	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。
				(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。
魚病対策 事業	20年度～ 円 (1,549,000) 1,145,142	生産技術室	(調査対象) コイ、フナ、アユ、バ イ、アユカケ、サケ科魚類、ホンモ ロコ、ヒラメ、トラフグ、アワビ類、 キジハタ等 (目的) (補助) ・薬事法および食品衛生法に基づき 養殖水産物の食の安全性を確保す るため養殖場の巡回指導、水産用 医薬品の残留検査、適正使用指導 を行う。 ・種苗生産過程で発生する疾病の原 因究明、対策技術の開発を行い、 安定生産に寄与する。	(成果) ・巡回指導を通じて新しい養殖魚であ るアユカケのPRおよび養殖試験の指 導等を行った。 ・新しい魚病診断技術として病理組織 標本の観察技法について研修し修得 した。 ・アワビ類の生産不調について調査を し、症例をいくつか収集した。
				(課題) ・内水面養殖の新品種アユカケの飼育 試験の結果、養殖場で疾病、共食い による大量減耗が問題となった。防 疫対策を含めた養殖現場にマッチし た飼育技術の開発普及が必要。 ・アワビ類の生産不調に係る疾病原因 の特定、対策技術の開発が必要。 ・対策技術としては、養殖ヒラメにお けるスクーチカ症は原因種の生物的 特徴(温度耐性、薬剤感受性等)が 分かってきたが、利用できる化学療 法剤、ワクチンはまだ未開発なので 発生現場で利用できる対処法の開発 が必要である。

事業名	実施計画 期 間 (予算額) 支出済額	担 当 室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試験研究調査の 成 果 ・ 課 題
イワガキ 資源回復 技術開発 試験	20～24年度 円 (2,876,000) 2,257,279	増殖技術室	(調査対象) イワガキ (目的) (単) ・ 十字礁内のイワガキの固着状況の把握。 ・ 天然稚貝の付着機構の解明。 ・ 人工種苗の漁場展開方法の開発。	(成果) ・ 10年前に漁場であった十字礁内では、1基にあたり10個程度の付着が見られたが、斃死している大型の個体の付着が見られた。 ・ 水深20m付近での漁場展開ではロープの破断もなく牢記風浪に耐久することが確認された。 ・ 9月末～10月中旬にかけてカキ稚貝の付着がピークであった。  (課題) ・ 天然種苗を活用した漁場展開方法の検討。 ・ 漁場内での付着促進の検討。
地域養殖 特産種創 出試験	20～22年度 円 (616,000) 277,694	生産技術室	(調査対象) アユカケ (目的) (単) ・ 中山間地における新しい養殖魚種として、希少種であるアユカケの養殖技術を開発する。	(成果) ・ 大量の種苗生産に成功し、4万尾の稚魚を得た。 ・ 8件の養殖業者と共に養殖試験を行った。  (課題) ・ 養殖のために業者の池に入れると、導入初期に運動性エロモナス症が発生することが多く大量に斃死する。 ・ 共食いが多く、養殖中の減耗要因になっている。

事業名	実施計画 期 間 (予算額) 支出済額	担 当 室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試験研究調査の 成 果 ・ 課 題
沿岸漁業 重要資源 調査事業	13年度～ 円 (8,517,000) 4,286,789	増殖技術室	(調査対象) ヒラメ、メイタガレイ、 マダイ、アカイカ、サワラ、サザエ (目的) (単) (委) ①沿岸底魚類資源調査 ②沿岸浮魚類資源調査 ③磯場資源調査	(成果) ① ・用船での試験操業による資源調査を 行い、漁業情報として漁業者へ情報 提供を実施した。 ・資源管理方策検討のための、一斉試 験操業を実施した。 ② ・アカイカ漁期前試験操業による来遊 状況の把握を実施した。 ・サワラについては基礎生態を把握す るための標識放流調査を実施した。 ③ ・御来屋地区内で漁獲が減少している 海域の餌環境の調査を実施し、水深 9m～3m帯には海藻が繁茂している状 況であった。 ・漁場内の餌料としてクロメの藻場造 成試験を実施した。 (課題) ・用船調査による調査体制(同一漁船) の再確立および、過去の試験船デー タと用船漁船収集データとの整合性 の確認。
豊かで安 心な魚を 育む漁場 環境監視 事業	19年度～ 円 (2,183,000) 1,287,621	増殖技術室	(調査対象) 水温、塩分、クロロフ ィル、イワガキを対象とした貝毒プ ランクトン、ノロウイルス、有害赤 潮プランクトン、浮魚類の餌料環境 (目的) (単) (委) ①漁海況情報の提供(沿岸漁家)。 ②赤潮発生監視と赤潮発生メカニズ ムの解明。 ③イワガキ出荷期の安全性確保。 ④浮魚類等の餌料環境変動の把握： ・水温、塩分の季節変動。 ・植物プランクトン量(クロロフィ ルa量)の季節変動。 ・動物プランクトン種組成、及びそ れらの個体群変動と浮魚類の漁 獲量の関係。	(成果) ①水温、クロロフィルa量の結果に漁 獲情報を加えて毎月1回の情報発信 を行った。 ②夏季には各週1回、本県沿岸の赤潮 発生状況を調査するとともに、発生 地域(韓国)の情報を監視した。 ③貝毒未発生状況を情報提供した。 ④餌料環境と浮魚類の漁獲量の関係は まだ見出されていないが、動物プラ ンクトンの中の優占群であるカイア シ類について、合計17種が認めら れた。 (課題) ・用船から新造調査船「おしどり」に よる観測定点及び調査体制の見直し が必要である。 ・餌料環境(植物プランクトン量、動 物プランクトン量)の継続調査につ いて検討。

事業名	実施計画 期 間 (予算額) 支出済額	担 当 室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試験研究調査の 成 果 ・ 課 題
藻場回復 基礎調査	22年度～ 円 (979,000) 454,850	生産技術室	<p>(調査対象) 海藻群落構成、ヒジキ、アカモクなど (目的) (単)</p> <p>①藻場監視調査 ・ 県内で磯焼けが生じていないか否か確認するため、網代、酒津、御崎において海藻群落と生息環境を把握。</p> <p>②未利用海藻生育状況調査 ・ ヒジキ、アカモク等今後有用海藻として漁獲が期待される種の生育状況等を把握し、持続可能な資源利用を目指す。</p> <p>③藻場造成技術開発試験 ・ フルボ酸鉄や腐植土添加による藻場造成効果の有無について調査する。</p>	<p>(成果)</p> <p>①3地区ともに前年度と構成種に大差はみられず、磯焼けも認められなかった。</p> <p>②ヒジキの分布域拡大が認められた。また、酒津におけるアカモクの生育場所が大まかに把握された。</p> <p>③砂の影響を受けやすい海域では、フルボ酸鉄を添加しても小型海藻や大型海藻の生育はほとんど認められないことがわかった。</p> <p>(課題)</p> <p>①固定式の海藻採取装置の設置。</p> <p>②基礎生態や持続可能な資源利用のためのデータ蓄積が必要。</p> <p>③海域特性に応じた造成技術の開発。</p>
内水面資源生態調査	21～26年度 円 (6,215,000) 2,418,716	生産技術室	<p>(調査対象) アユ、ヤマトシジミ、コイ、フナ、ワカサギ、シラウオ (目的) (単)</p> <p>①アユの資源状況を把握し、アユ資源回復プランの効果を検証するとともに、不漁対策について検討する。また、安定したアユ資源確保のために県内水面漁業調整規則改正に必要なデータを収集する。</p> <p>②東郷池で漁獲されているヤマトシジミの資源管理に向けた基礎データを収集する。</p> <p>③県内水面漁業調整規則改正に必要な東郷池および湖山池ならびに両池流入河川におけるコイ、フナ、ワカサギ、シラウオの産卵に関するデータを収集し、関係機関に対し同規則改正案を提示する。</p>	<p>(成果)</p> <p>①天神川のアユ遡上数は11万尾と推定され、平成20年以降減少傾向にある。本年のアユ不漁は、種苗放流後の水温低下が一因であると考えられた。</p> <p>②東郷池内のヤマトシジミの現存量は約3,800tと推定され、前年同期より減少したことを報告。これを受け漁業協同組合は1日あたり漁獲量の上限を15kgから10kgとし、資源管理に務めている。</p> <p>③コイ、フナについては改正案を関係機関へ提示済み。</p> <p>(課題)</p> <p>①近年、アユの餌となる付着藻類の減少が発生しており、その原因の特定および対策が急がれる。</p> <p>②ヤマトシジミ資源を持続的に利用するためには、同様の調査を継続し、迅速に資源状況の変化に対応した資源管理方策を実施する必要がある。</p> <p>③各水域に適した産卵保護を図るため組合行使規則改正での対応も視野に入れ、関係者へ説明を行っていく必要がある。</p>

事業名	実施計画 期 間 (予算額) 支出済額	担 当 室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試験研究調査の 成 果 ・ 課 題
湖山池漁 場環境回 復試験	12~22年度 円 (6,344,000) 1,607,869	生産技術室	(調査対象) 「6 主な事業に関する調べ」に 記載。	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。  (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。

## 沖合漁業部 第一鳥取丸

事業名	出航先	期間		乗船者			備考
		月日～月日	日数	調査員	乗務員	その他	
燃油高騰対策支援調査	第1区	H22. 4. 15～H22. 4. 16	2	延人 1	延人 10	延人 0	
		H22. 4. 19～H22. 4. 21	3	1	10	0	
		H22. 5. 12～H22. 5. 14	3	1	10	0	
		H22. 11. 24～H22. 11. 26	3	1	10	0	
		小計	11	4	40	0	
海洋環境変動調査	第1区	H22. 4. 5～H22. 4. 7	3	1	10	0	
		H22. 4. 26～H22. 4. 27	2	1	10	0	
		H22. 5. 10～H22. 5. 11	2	1	10	0	
		H22. 5. 31～H22. 6. 2	3	1	10	3	
		H22. 7. 27～H22. 7. 28	2	0	11	0	
		H22. 7. 29～H22. 7. 30	2	1	11	0	
		H22. 8. 30～H22. 9. 1	3	1	11	0	
		H22. 10. 6～H22. 10. 7	2	1	10	0	
小計	19	7	83	3			
浮魚資源変動調査	第1区	H22. 5. 17～H22. 5. 21	5	1	10	0	
		H22. 6. 3～H22. 6. 4	2	1	11	0	
		H22. 6. 8～H22. 6. 9	2	1	11	0	
		H22. 6. 28～H22. 7. 3	6	1	11	0	
		H22. 7. 20～H22. 7. 22	3	1	11	1	
		H22. 11. 16～H22. 11. 18	3	1	10	0	
		H22. 12. 1～H22. 12. 2	2	1	10	0	
小計	23	7	74	1			
底魚資源変動調査	第1区	H22. 6. 21～H22. 6. 23	3	1	11	4	
		H22. 6. 24～H22. 6. 25	2	2	11	0	
		H22. 7. 6～H22. 7. 8	3	0	11	0	
		H22. 7. 9～H22. 7. 9	1	2	11	11	
		H22. 8. 2～H22. 8. 5	4	1	11	0	
		H22. 8. 17～H22. 8. 19	3	1	11	0	
		H22. 8. 23～H22. 8. 24	2	1	11	0	
		H22. 9. 6～H22. 9. 6	1	0	11	0	
		H22. 9. 9～H22. 9. 9	1	0	11	0	
		H22. 9. 13～H22. 9. 15	3	1	11	0	
		H22. 10. 4～H22. 10. 4	1	1	10	0	
		H22. 10. 12～H22. 10. 13	2	1	10	0	
		H22. 10. 14～H22. 10. 14	1	1	10	0	
		H22. 10. 18～H22. 10. 21	4	1	10	0	
		H22. 12. 6～H22. 12. 6	1	1	10	0	
小計	32	14	160	15			
水産まつり体験乗船 定期検査のための回航	第1区	H22. 10. 10～H22. 10. 10	1	1	9	0	
		H22. 12. 13～H22. 12. 13	1	0	9	0	
		小計	2	1	18	0	
合計			87	33	375	19	

沿岸漁業部 おしどり

事業名	出航先	期間		乗船者			備考
		月日～月日	日数	調査員	乗務員	その他	
豊かで安心な魚を育む 漁場環境監視事業	第1区	H22.9.7～H23.1.21	10	延人 15	延人 12	延人 0	
イワガキ資源回復技術 開発試験	第1区	H22.9.7～H22.12.21	4	4	5	0	
種苗放流技術開発試験	第1区	H22.10.1～H22.10.1	1	3	1	5	
藻場回復基礎調査	第1区	H22.12.2～H22.12.2	1	1	2	1	
沿岸重要資源調査	第1区	H22.12.17～H23.1.5	4	4	8	0	
その他							
就役回航	泊漁港	H22.9.1～H22.9.1	1	0	1	1	
視察	泊漁港	H22.9.15～H22.9.15	1	0	1	3	
初期メンテナンス回 航	鳥取港	H22.10.6～H22.10.9	2	0	2	2	
合計			24	27	32	12	

※同一日において、2事業の調査を実施した日がある。

9月15日：豊かで安心な魚を育む漁場環境監視事業・イワガキ資源回復技術開発試験

沿岸漁業部 第二おしどり

事業名	出航先	期間		乗船者			備考
		月日～月日	日数	調査員	乗務員	その他	
アラメ藻場調査（近場 漁場増産促進事業）	第1区	H22.4.6～H22.6.22	3	延人 3	延人 3	延人 1	
イワガキ資源回復技術 開発試験	第1区	H22.5.10～H22.12.1	8	8	8	0	
種苗放流技術開発試験	第1区	H22.8.5～H22.8.5	1	2	1	0	
豊かで安心な魚を育む 漁場環境監視事業	第1区	H22.4.26～H22.4.26	1	1	1	0	
藻場回復基礎調査	第1区	H22.6.18～H22.6.18	1	3	1	0	
ナマコ増殖試験	第1区	H22.5.11～H22.5.11	1	1	1	0	
沿岸重要資源調査	第1区	H22.7.12～H22.7.12	1	1	1	0	
栽培技術普及指導（沿 岸漁業部管理運営費）	第1区	H22.4.19～H23.1.5	20	2	20	21	
合計			36	21	36	22	

※同一日において、2事業の調査を実施した日がある。

4月26日：豊かで安心な魚を育む漁場環境監視事業・栽培技術普及指導（沿岸漁業部管理運営費）

11月8日：アラメ藻場調査（近場漁場増産促進事業）・イワガキ資源回復技術開発試験

事業名	船名	調査内容	出航先	借上げ 日数	金額(円)			備考
					計	使用料	その他	
内水面資源生態調査	第五あかり丸 (中部)	ヤマトシジミ調査	東郷池	8	80,000	(10,000)		1.0t
計					80,000			
藻場回復基礎調査	第二大商丸 (東)	ワカメ調査	東浜	1	15,000	(15,000)		0.5t
藻場回復基礎調査	喜政丸 (網代)	藻場調査	網代	1	15,000	(15,000)		0.2t
藻場回復基礎調査	第二幸喜丸 (網代)	藻場調査	網代	1	15,000	(15,000)		0.2t
藻場回復基礎調査	第二三幸丸 (赤碕)	藻場調査	御崎	1	15,000	(15,000)		1.1t
藻場回復基礎調査	第二春風丸 (酒津)	アカモク調査	酒津	1	15,000	(15,000)		0.3t
計					75,000			
東郷池覆砂効果検証調査	第五あかり丸 (中部)	覆砂効果調査	東郷池	3	30,000	(10,000)		1.0t
計					30,000			
種苗放流技術開発試験	大坂丸 (酒津)	キジハタ調査 (釣獲試験)	酒津	2	30,000	(15,000)		1.3t
種苗放流技術開発試験	春風丸 (酒津)	キジハタ調査 (釣獲試験)	酒津	2	30,000	(15,000)		2.4t
種苗放流技術開発試験	勇誠丸 (酒津)	キジハタ調査 (釣獲試験)	酒津	2	30,000	(15,000)		2.6t
種苗放流技術開発試験	幸栄丸 (酒津)	キジハタ調査 (試験放流)	酒津	1	30,000	(30,000)		4.27t
種苗放流技術開発試験	松嶋丸 (酒津)	キジハタ調査 (試験放流)	酒津	1	15,000	(15,000)		0.3t
種苗放流技術開発試験	谷口丸 (赤碕)	キジハタ調査 (試験放流)	赤碕	1	15,000	(15,000)		1.0t
種苗放流技術開発試験	はるかぜ (赤碕)	キジハタ調査 (試験放流)	赤碕	1	15,000	(15,000)		0.9t
種苗放流技術開発試験	パルコ (赤碕)	キジハタ調査 (試験放流)	赤碕	1	15,000	(15,000)		2.8t
種苗放流技術開発試験	第二春風丸 (酒津)	キジハタ調査	酒津	5	75,000	(15,000)		0.3t
種苗放流技術開発試験	第二春風丸 (酒津)	キジハタ調査	酒津	8	240,000	(30,000)		0.3t
計					495,000			



事業名	船名	調査内容	出航先	借上げ 日数	金額 (円)			備考
					計	使用料	その他	
沿岸漁業重要資源調査事業	福陽丸 (泊)	桁網調査	天神川沖	10	800,000	(80,000)		4.9t
沿岸漁業重要資源調査事業	海生丸 (賀露)	桁網調査	賀露沖	6	540,000	(90,000)		4.9t
沿岸漁業重要資源調査事業	第二長栄丸 (賀露)	アカイカ漁期前調査	賀露沖	1	90,000	(90,000)		4.95t
沿岸漁業重要資源調査事業	宮徳丸 (賀露)	アカイカ漁期前調査	賀露沖	1	90,000	(90,000)		4.71t
沿岸漁業重要資源調査事業	日の出丸 (田後)	漁場一斉桁網調査	田後沖	1	90,000	(90,000)		4.9t
沿岸漁業重要資源調査事業	福松丸 (賀露)	漁場一斉桁網調査	賀露沖	1	90,000	(90,000)		4.82t
沿岸漁業重要資源調査事業	海幸丸 (浜村)	漁場一斉桁網調査	浜村沖	1	90,000	(90,000)		3.78t
沿岸漁業重要資源調査事業	浜栄丸 (青谷)	漁場一斉桁網調査	青谷沖	1	90,000	(90,000)		3.78t
沿岸漁業重要資源調査事業	福陽丸 (泊)	漁場一斉桁網調査	泊沖	1	90,000	(90,000)		4.9t
沿岸漁業重要資源調査事業	寿丸 (赤碕)	漁場一斉桁網調査	赤碕沖	1	90,000	(90,000)		4.9t
沿岸漁業重要資源調査事業	灘吉丸 (境港)	漁場一斉桁網調査	境港沖	1	90,000	(90,000)		4.9t
沿岸漁業重要資源調査事業	御来屋丸(境港)	サザエ資源調査	御来屋沖	2	30,000	(15,000)		1.72t
沿岸漁業重要資源調査事業	わかとり丸 (賀露)	漁期前資源調査	賀露沖	1	101,250	(90,000)		4.43t
計					2,281,250			
中海漁場環境調査	海協丸 (崎津)	水質測定、底質調査等	中海	8	240,000	(30,000)		1.7t
計					240,000			
豊かで安心な魚を育む漁場環境監視調査	第二宮慶丸 (泊)	海洋観測	長尾鼻沖	5	500,000	(100,000)		4.95t
計					500,000			
イワガキ資源回復技術開発試験	第二海栄丸 (中山)	イワガキ資源調査(マボヤ)	中山沖	1	15,000	(15,000)		0.9t
イワガキ資源回復技術開発試験	三好丸 (赤碕)	イワガキ資源調査	赤碕沖	3	45,000	(15,000)		1.1t
イワガキ資源回復技術開発試験	たく丸 (境港)	ナマコ増殖試験	境港沖	6	30,000	(15,000)		1.5t
計					90,000			

事業名	船名	調査内容	出航先	借上げ 日数	金額 (円)			備考
					計	使用料	その他	
美保湾栽培漁業実用化 支援調査	第8勇宝丸 (境港)	桁網調査	美保湾	9	720,000	(80,000)		4.93t
美保湾栽培漁業実用化 支援調査	美光丸 (境港)	ヒラメ試験放流	美保湾 境港	1	30,000	(30,000)		4.9t
美保湾栽培漁業実用化 支援調査	暁丸 (境港)	ヒラメ試験放流	美保湾 境港	1	30,000	(30,000)		4.9t
美保湾栽培漁業実用化 支援調査	慶志丸 (淀江)	ヒラメ試験放流	美保湾 淀江	1	30,000	(30,000)		4.96t
美保湾栽培漁業実用化 支援調査	国頭丸 (淀江)	ヒラメ試験放流	美保湾 淀江	1	30,000	(30,000)		4.98t
美保湾栽培漁業実用化 支援調査	第2あし丸 (米子市)	パイカゴ網調査	美保湾 米子市	4	60,000	(15,000)		1.3t
美保湾栽培漁業実用化 支援調査	吹野丸 (淀江)	パイカゴ網調査	美保湾 淀江	7	105,000	(15,000)		0.7t
計					1,005,000			
合計					4,796,250			

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし